

南陽図書館つうしん 2015冬号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目130-79
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し、直後の平日を休館）
第3金曜日（祝日の場合は開館）年末年始、
特別整理期間【H28年度 6/13（月）～17（金）】
ホームページ：<https://www.library.city.nagoya.jp>



みんなでマナーアップ！！

●10月には、みなさま「窓口アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果については、ただいま全館集計中です。

今年度もいろいろ貴重なご意見をいただきました。特に職員の「マナー」…窓口での対応や、棚への返本のしかたへのご意見などは、回答の貼り出しを待たず、すみやかに改善していきたいと思ひます。

●また、11月は「マナーアップ」月間です。

例年のように、切り取りや水濡れにあった「かわいそうな本たち」の展示をおこなっています。

図書館の本は利用する「すべてのひとのもの」なのですが、中にはごくまれに「税金をはらっているから自分のもの」と勘違いされる方がおられるようです。「切り取り」や「無断持ち出し」などの心ない行為は、マナー以前の「犯罪」です。

また、本の返却遅れ、水濡れなどの汚損、館内でのおしゃべりなどは、悪気はなくても他の方のご迷惑になります。お互いに気を配り、気持ちよく利用できるようご協力をお願いします。

●今年は、ご利用の皆さま自身のそんな「マナー」に対する思いを形にさせていただくべく、「キャッチコピー大賞」募集を行いました。ご応募いただいた作品は、12月12日（土）～27日（日）に館内投票をおこない、大賞作品は1年間館内に掲示し、「マナーアップ」にひと役買ってください。ぜひ投票にご協力ください！（Y. S）

新しく入った本の紹介 （塩）



■ 本屋って何？ 稲葉茂勝／文 ミネルヴァ書房

本屋さん…誰でも知っていて、行ったことがあると思います。その本屋さんを、色々な角度から調査、探検しています。“いろいろな国の本屋さん”“日本の本屋さんはいつごろできたの”“全国のおもしろ本屋さん”など。本屋さんの裏側ものぞいています。

■ ギネス世界記録 2016

クレイグ・グレンディ／編 角川アスキー総合研究所

“著作権がある年鑑本の中で、世界で最も売れている年鑑本！”

皆さんご存知のギネス世界記録です。黒柳徹子さん、桂文枝さんに、タモリさん。最も重いイチゴに、最高齢の人々。いろいろな世界一がぎゅっしり。名古屋市科学館も載っています。探してみてください。

■ 昭和の家事 | 母たちのくらし 新装版

小泉和子／著 河出書房新社

電子レンジに、洗濯乾燥機、食洗機、掃除機、ミシン等々、とっても便利。でも、ちょっと前までは、「手しごと」でした。

著者は、明治43（1910）年生まれのお母さんを使って記録映画を作り、そしてこの本で、家事がもつ豊かな世界を紹介しています。

■ 戦争と読書 | 水木しげる出征前手記

水木しげる／[著]、荒俣宏／[著] KADOKAWA

“水木しげるさん”は、ゲゲゲの鬼太郎、悪魔くん等々の有名漫画家さんです。太平洋戦争下、出征直前まで考え続けた手記を、戦争と読書、青春と読書をキーワードに、彼に師事した荒俣宏さんが、考察します。



◆ご案内◆

図書館で購入している雑誌付録の無料配布を行います。

日時：12月19日（土） 9時30分～

※おひとりにつき1点まで。なくなり次第終了します。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

南陽図書館からのお知らせ (①)

秋の読書週間にちなんで、27年度は孫育て世代を対象に、

「元気に孫育て講座！」を10月に2回連続で行いました。

① 絵本とわらべうたで遊びましょう

(山口陽子 先生)

② 昔の子育て・今の子育て

～孫疲れしないコツ～

(山岸由美子 保健師)



子育ての大先輩である参加者の皆さんからは、終始、笑顔がこぼれてました。世代は変わっても、いい絵本は読まれ続けるのですね。

「昔と今の子育て」クイズは、ちょっと難しかったようです。



なごやか わぎつね「朗読三昧の会」

朗読グループ「なごやか わぎつね」による公演です。新美南吉作品を朗読劇で行ったり、ほか朗読や詩を歌ったりします。

日時：2月20日(土) 午後2時～3時

場所：南陽図書館2階 集会室

対象：小学生～大人の方(幅広い世代にお楽しみいただけます)

「藤前干潟をギョ存知ですか!？」

(※さかなクン風にお読みください。)



南陽図書館のろキロほど南に巨大な湿地が広がっているのでギョざいます。それが藤前干潟でギョざいます! ここには変わった生き物たちがいっぱいいるのでギョざいますよ! たとえば、泥の中をピョンピョン飛び回るトビハゼさん。トビハゼさんは、お魚さんのくせに水の中にすーっていると、なんと、溺れてしまうのでギョざいます! 鰓呼吸に加えて皮膚呼吸も行っているの、たまに空気に触れないとだんだん苦しくなってしまうのでギョざいますね。だから海と陸の境目の泥の中をピョンピョン飛びながら暮らしているのでギョざいます。面白いでギョざいますね!

干潟には他にもアナジャコさんやカニさんなどの生き物がたくさんいるのでギョざいますが、その生き物たちを食べるために、これまたたくさんさんの渡り鳥たちがやってくるのでギョざいます! まさに、「生物の楽園」でギョざいますね!

そして藤前干潟の近くには環境省の施設、「藤前活動センター」があるのでギョざいます! このセンターさんでは、干潟のだいじな役割をみなさんにギョ紹介したり、生き物たちと実際に触れ合ったりする活動をおこなっているのでギョざいますよ! 図書館では12月19日(土)にこのセンターさんとコラボして、藤前干潟のワークショップを開催します! 1年生から4年生の小学生さんならどなたでもギョ参加できますので、詳しくは南陽図書館の職員にギョ確認くださいねー!(堀尾)



藤前活動センター

名古屋市港区藤前2-202

Tel (052) 309-7260

Fax (052) 309-7261

稲永ビジターセンター

名古屋市港区野跡4-11-2

Tel (052) 389-5821

Fax (052) 389-5822



この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

